

同窓会だより

'83. 1
第2号

初 春 に 期 し

佐藤 紀一



同窓生の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

新春にこのような形であいさつできる機会を得たことを光栄に思います。

皆様が、国内・海外にて広い分野で力を発揮され、活躍されていることを聞くたびに、こころが躍る気持です。

また、互いが連絡を取り合いながら親交を深め、難しい問題などを話し合い、カバーし合っていることを、そして、私達の作った会員名簿がその一助となっていることを聞くとき、この同窓会を創り上げることに参加できて、本当によかったと感じているこの頃です。

鉱山学部には、北光会という大きな組織があることは周知のことですが、学科単位で同窓会を創ったのは、私達が初めてとのことで、北光会もそ

の発展に期待し、注目しているとのことです。

私達の同期も、今春卒業される人を入れ、十四期、503人となります。

私が勤務している秋田県にも21名の同窓生がおり、各分野で頑張っております。私達は一年に二回、定期的に酒を酌交す機会を設け、たがいの近況を話し合っています。仕事においても、たがいに相談しあい、また大学の先生からアドバイスを受けながら、取りくんでいます。自分達が、大学と連絡のとりにやすい所で仕事ができることに感謝しています。

最後に、今年も良い年でありますように祈るとともに、秋田へ来られましたら、是非とも声をかけて下さることを、そしてこの同窓会が、皆様の深い理解と団結により、よりいっそう発展することを期し、ペンを置きます。

(1期 秋田県土木部秋田土木事務所勤務)

お 知 ら せ

◆ 第4回交流会について

昭和58年度に同窓会へ入会予定の14期生と同窓会員との交流会を下記のとおり企画しましたので、会員皆様の参加をお願いします。

記

日 時 昭和58年2月26日(土) 午後1時半

場 所 大学会館 2F 会議室

◆ 同窓会費納入のお願い

57年度会費(年会費2千円)を納入されていない会員は、できるだけ早く振り込んで下さい。よろしく申し上げます。

事務局からのお知らせ

昭和57年3月13日理事会が開かれ昭和57年3月10日までの収支決算が次のように承認された。

収入	基金	568,000 円
	土木工学科父兄会からの補助	20,000
	若桑先の古希を祝う会	
	発起人一同からの寄付	5,000
	利子	8,113
	前年からの繰り越し金	233,105
	計	834,218
支出	交流会第2回	72,250
	“ 第3回	59,700
	同窓会だより第1号印	
	刷および写真代	40,975
	理事会通信費	67,870
	“ 足代	48,200
	慶弔費	33,670
	故宮川先生遺稿集への補助	100,000
	あて名書きバイト代	35,000
	事務運営費	20,285
	計	477,950
	残金	356,268

同窓会だより2号を発刊することとなりました。発刊のきっかけは本紙を通じて同窓生同志の親睦をはかることであつたのですが、皆様からの寄稿がなく事務局としても残念でした。同窓生各位の近況等お知らせいただければどしどし掲載したいと思つています。また、同窓会だよりの名称についても公募中ですのでよろしくお願ひいたします。第4回交流会が開かれます。都合のつく方はふらつて参加下さい。同窓会に対する希望等ありましたら事務局まで御一報下さい。

第2回同窓会総会

- 日 時 昭和56年11月22日 17:00～
- 会 場 秋田駅前「ニューたけや」

全国各地から会員諸氏50余名が統々会場に参集した。先づ開会の辞に始まり議長選出の後、役員改選を行ない、同総会の更なる発展と充実についで熱心に審議した。審議終了後、恩師徳田先生、椋農先生、薄木先生、川上先生、石井先生、松富先生を囲み記念撮影を行なつた。

続いて、高らかに乾盃し懇親会に入つた。数年、あるいは十数年ぶりで顔を合せる同窓生一同は、学生時代の思い出話し、近況報告等々の話通に花を咲かせ大いに意気上ると共に、アルコールの度も上つて和気あいあいのうちに時間はたちまち経過し、名残りはつきぬものの閉会の時刻となり、最後に北光寮歌を合唱し次回総会に元気で再会することを誓つて幕を閉じた。

(中村 記)



第 3 回 交 流 会

昭和57年2月27日(土)午後2時より、恒例の土木工学科同窓会の第3回交流会が大学会館2階会議室で4年生約30名が出席して盛大に開催された。

早いもので交流会も第3回を迎え、箱膳を囲みビール・お酒をくみ交しながら和気あいのうちに進められた。

体験談を話していただいたのは、宇佐美さん(1期生・秋田市役所)、佐々木卓郎さん(2期生・秋田県庁)、岩沢さん(7期生・国鉄秋田鉄道管理局)の各氏で、ユーモアを交えながらの熱弁でした。その後質問・雑談にはいり、盛会のうちに終了しました。なかなか話が尽きず、駅前の久保田会館で開かれた二次会にまで発展しました。事務局の方々、大変ご苦労様でした。

毎年開催されておりますので、先輩の方々には是非出席していただいて、後輩のために、貴重な体験談をよろしく願います。

写真撮影 菊田 氏(13期生)



14期生(昭和57年度卒業予定) 就 職 内 定 先

氏 名	内 定 就 職 先
磯 崎 貞 一	秋田大大学院(予定)
近 江 善 仁	国家中級
大 竹 弘 志	飛島建設
大 山 良 夫	日本グラウト工業
小 野 威	鉄建建設
金 森 久 幸	秋田市役所
金 子 勝 彦	関東電気工事
菊 地 浩 典	大日本コンサルタント
岸 本 正 憲	オリエンタルコンクリート
北 山 俊 哉	北山建設
京 極 敏 幸	
根 田 隆 夫	秋田市役所
近 藤 俊 一	大木建設
佐々木 肇	本荘市役所
佐々木 良 輔	扶桑建設
佐 藤 貞	秋田大大学院(予定)
島 毅	常盤工業
菅 原 純	秋田大大学院(予定)
菅 原 俊 次	東京コンサルタント
鈴 木 一 彦	日新舗道
俵 谷 毅	本間組
富 内 貞	日本国土開発
中 山 健	秋田大大学院
梨 子 敏 晴	建設省東北地建
本 間 旭	山岡工業
松 木 仁	国家中級
山 本 浩 一	東亜道路
松 本 直 也	北大大学院
門 口 和 彦	秋田大大学院
保 坂 悟	秋田大大学院
川 合 哲 也	松村組
杉 本 悟	横河工事
中 尾 和 也	若築建設
堀 越 敦	日本技術開発
本 木 正 直	
三 浦 正 義	徳倉建設

卒業生雑感

卒業するにあたって

オリエンタルコンクリート株式会社入社予定

S57年度卒業予定 岸本正憲

正月休みも終り秋田に帰ってみると、会社から文書が送られてきていました。急いで封を切って読んでみると、「最期の学生生活頑張ってください」とありました。僕は思わず笑ってしまいました。あらためて学生生活の最期を感じとり、そのことに一抹の不安を感じ、条件反射的に笑ってしまったのです。ところで、卒業するにあたって、とりたてて念頭においていることはないのですが、2つあげるとすれば、健康であればなんとかなるであろうということと、もう1つは、人々は我々に何を望んでいるかということをつも頭においておきたい気がします。

困った時、一番たよりにできるのは先輩達です。ので宜しくおねがいいたします。

最後に僕は声を大にして言いたい。

「健康第一」と。

就職を前にして

榎横河橋梁製作所入社予定

S57年度大学院終了予定 佐々木保隆

同期生達が社会の荒波と果敢に戦っている二十代前半に、私は二年間のモラトリアムを自ら選ぶことになりました。当初、社会へ出るスタートが遅れたことに対する焦燥を感じつつ、一方では、この与えられた二年間に他の人々に経験できない事を少しでも多く経験できたなら、それは自分の人生において意義有るものではないかと考えていました。今、卒業を目前にしてこの二年間のモラトリアムが自分にとっては大変重要な経験であり、かつエネルギーの蓄積期間となったと確信しています。

今年は、就職という形で二十代後半のスタートをきるわけですが、それは前途多難なものと思われれます。しかし、常に前向きな姿勢で最大の努力を続けて行けば、道は開けると思っています。二十代後半の生き方が、自分の人生をかなり決定づけるような気がします。

訃報

9期生の中宮政之さん（勤務先：陸建設工業所KK）が、去る昭和57年7月8日、マレーシアで事故のためなくなりました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。なお、香典返しとしてお茶のセットが同窓会あてに送られておりますので、報告します。

編集後記

各地でご活躍の同窓会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

57年3月20日に卒業した37名の学生が新たに土木工学科同窓会員となりました。

母校の地秋田は、ことしは暖冬で、雪のほとんど無い新年を迎えました。

また、東北新幹線、上越新幹線の開通にともない、まだまだ多少の感はありますが、新幹線時代に突入しつつある、きょうこの頃です。学内の変ぼうも著しく、一期生の方々が入学した頃の鉾山学部本部の面影はほとんど残しておりません。そのことが月、日の経つ早さを感じさせてくれます。

本号は57年4月に発行の予定でしたが、今日まで伸々になってしまいました。会員の皆様には大変ご迷惑をかけ、心からお詫び申し上げます。今後も年2回の発行に努力する所存ですので、近況、話題等何でもけっこうですから、どしどし投稿していただいて、よりよい同窓会だよりにしてゆきたいと思っております。

最後に、土木工学科同窓会皆様の一層のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

なお、投稿等のあて先は下記まで。

発行所 〒010 秋田市手形学園町1-1

秋田大学鉾山学部土木工学科同窓会

TEL 0188 (33) 5261

振替 秋田 4736

発行人 小林 富美雄

編集委員 秋田市役所内同窓生一同

印刷所 秋田活版刷株式会社

